(様式１)

令和　　年　　月　　日

復興庁参事官　殿

令和２年度「新しい東北」交流拡大モデル事業成果発信業務に係る企画競争について、企画提案書を提出します。

提出者）住所

電話番号

会社名

代表者　役職名　氏名　　　　印

作成者）担当部署

氏名

ＦＡＸ

Ｅ-mail

(様式２）

業務内容調書

|  |  |
| --- | --- |
| 令和２年度「新しい東北」交流拡大モデル事業成果発信業務 | 令和２年度 |

１　業務概要

|  |
| --- |
| （１）業務の目的・必要性 |
| 〇本業務の実施により達成しようとする目的を簡潔かつ明確に記述すること。〇本業務の実施にあたっての課題及び重視する点について記述すること。 |
| （２）業務内容 |
| ○以下の業務の実施方法について、それぞれ提案すること。①具体の旅行商品等の情報発信業務ア　平成28・29・30・令和元年度及び今年度の復興庁交流拡大モデル事業で造成された旅行商品及びプログラム等（以下「旅行商品等」という）の成果を令和３年度（2021年度）以降の東北の観光振興にも活用でき、持続的に販売されるようにするため、旅行商品等の販売を行っている旅行業者やランドオペレーター（以下「旅行業者等」という）や、旅行商品等の造成・開発を行う観光事業者向けに、平成28年度以降の本事業で造成・開発された旅行商品等の情報や成果を集約・整理するとともに、情報発信を行う。イ　情報発信に当たっては、具体の旅行商品等の特性を勘案しながら整理するとともに、特に過年度及び今年度の本事業で旅行商品等の造成や販売を行っている旅行業者等や観光事業者に対して、それぞれが効果的な販売や効率的な更なる造成・ブラッシュアップが可能となるような方策を提案し、実施すること。②情報発信ツールの制作業務ア　①の業務を踏まえたうえで、東北の魅力発信、誘客のためのツールとして、動画等の情報発信ツールを制作すること。イ　動画等の情報発信ツールについては、国内外のプロモーションや「2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会」開催など、今年度や令和３年度（2021年度）以降の東北の観光の魅力を発信する機会にも活用できるものとすること。ウ　制作については、全体の事業費を勘案し、制作可能な内容を提案すること。③プロモーション支援業務ア　（１）の業務で得た情報をもとに、過年度及び今年度に本事業で採択された案件について、プロモーションの実施内容や意向を把握し、各案件の事業者等と連携して、複数の案件の旅行商品等の情報を重層的に発信するプロモーションを実施すること。イ　（２）の業務を踏まえて、東北の魅力発信・誘客に資する情報発信と連携した魅力的、効率的、効果的なプロモーションを国内外で実施すること。その際には、東北の観光プロモーションや情報発信を行う機会とも連携して実施するなど、全体として魅力的、効率的、効果的なものとすること。ただし、コロナウイルスの感染状況を鑑み、海外のプロモーションの実施が難しい場合は、必ずしも海外での実施の必要はない。また、コロナウイルスの感染状況等の社会情勢を踏まえたプロモーションが実施できるよう、必　要な業務については東北管内の関係者と連携しながら実施すること。ウ　海外ではプロモーションに加えて、現地旅行会社等へのセールスコールも連携して実施すること。エ　上記のほか、プロモーション、情報発信に付随して発生する事務を処理すること。④報告書の作成③（１）から（３）までの取組について、報告書を作成する。 |
| （３）実施体制 |
| 〇業務を実施するにあたっての業務主体内での体制、役割分担、他の主体との協力体制などを記述すること（図を用いることも可とする）。〇業務内容ごとの業務従事者の経歴・手持ち業務等、及び配置・役割分担を記述すること。〇そのほか、業務実施に必要な他の関係者、協力者等に関する情報（氏名、略歴の一覧）についても、記述すること。 |

※　表に書ききれない場合は、表の大きさや枚数を適宜変更してかまわない。

※　記述内容について詳細な説明資料がある場合には添付してかまわない。

２　本業務の全体計画

|  |
| --- |
| 〇業務の実施フロー及び令和３年３月17日までの業務実施スケジュールについて記述すること。  |

３　本業務に関連するこれまでの取組の状況

|  |
| --- |
| 〇過去５年以内における本業務に類する事業等の実績を記述すること。 |

４　情報の適切な取扱いについて

|  |
| --- |
| ○業務実施の際、個人情報を取扱うことが想定されることから、個人情報の適切な取扱いについて具体的な対策を記述すること。 |